

経営比較分析表（令和4年度決算）

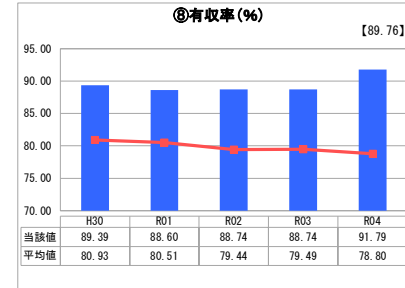
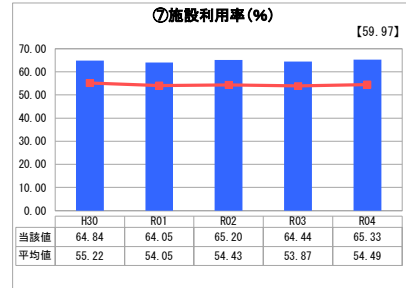
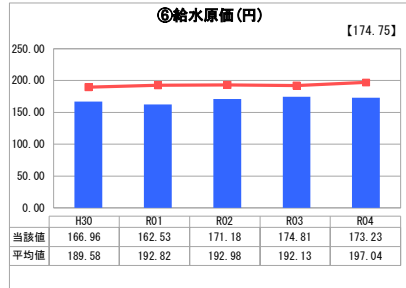
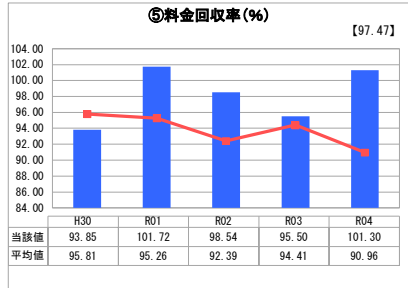
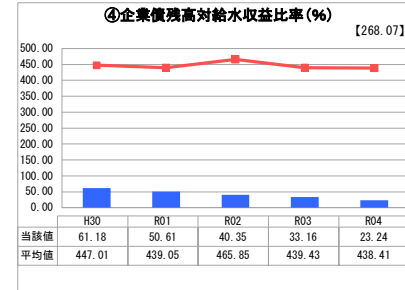
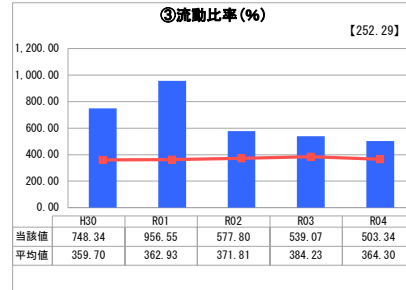
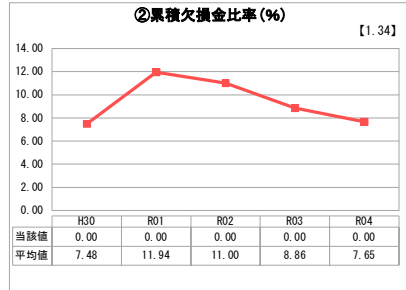
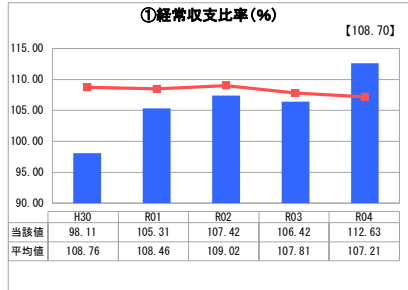
沖縄県 金武町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	95.03	91.38	1,760	

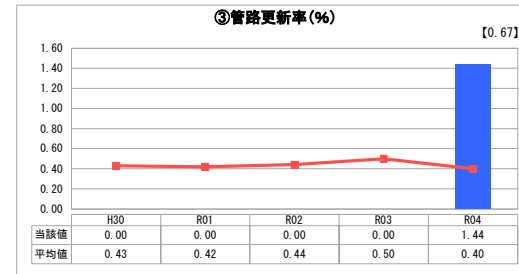
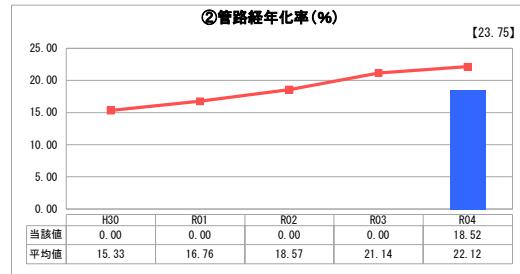
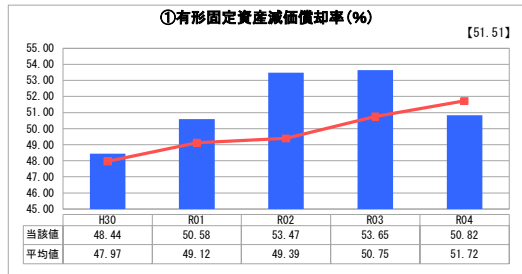
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
11,451	37.93	301.90
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
10,469	14.60	717.05

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率 (%)
過去5年とも類似団体平均値より下回っているものの、黒字であることを示す100%以上となっていることから収支バランスは確保されている。
- ② 累積欠損比率 (%)
過去5年間0%であり経営の健全性は引き続き確保されている。
- ③ 流動比率 (%)
類似団体と比べて高く、短期的な債務に対する支払能力の安定性を示している。
- ④ 企業債残高対給水収益比率 (%)
平成12年度以降起債を行っておらず、類似団体に比べて低く推移している。
- ⑤ 料金回収率 (%)
類似団体と比べて高く、100%以上となっていることから給水に係る費用が給水収益で賄うことができている。今後も健全経営に努める。
- ⑥ 給水原価 (%)
類似団体と比べて低く推移しており、今後も健全経営を続けていくため維持管理費の削減などの改善を図るよう努める。
- ⑦ 施設利用率 (%)
類似団体と比べて、高い値を維持しており、施設の利用状況や規模は適切である。
- ⑧ 有収率 (%)
類似団体の値を上回っており、今後も漏水防止対策等の強化に努める。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率 (%)
類似団体と比べて高く、一般的に数値が高いほど法定耐用年数に近い資産が多いことを示しており、今後着実な施設更新に備え財源の確保が必要である。
- ② 管路経年率 (%)
類似団体平均値より下回っているが、未だ更新需要のピークを迎えていないことから、将来の更新需要に備える必要がある。
- ③ 管路更新率 (%)
管路の新設を優先的に実施しているためであり、引き続き計画的な施設更新に努める。

全体総括

経営の健全性・効率性については概ね良好と判断できる。
しかし、減価償却率の増加は固定資産の老朽化が進んでいることが表れており、今後耐用年数に達する管路が増加するとともに上昇していくことが予測されるため、今後は管路施設の老朽度を適切に判断し、将来の更新需要に備えた料金改定を含めた経営改善に向けた取り組みを行う必要がある。